事例No.	2740
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	三原　大知

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

三原　大知

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

個人表彰

三原　大知　　高知県津野町

地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　観光振興・交流　環境保全　産業振興

概　　要

三原氏は、実家長野県のお茶小売店に勤めていた平成３０年５月に、取引先である津野町視察のため本町を訪れる。その際、津野町の良質なお茶の生産量が減少し荒廃茶園が増加している実態に衝撃を受け、自らが津野町へ移住し荒廃茶園を復興し、茶産業の発展に貢献していくことを決意する。同氏は、生産についての知識・経験はなく、すぐに収入をあげることができないため、同町の地域おこし協力隊として３年後の独立を目標に掲げ、各関係機関から支援を受けながら、荒廃茶園の再生や荒廃していた茶園から収穫した茶葉を使った特産品の開発、イベントなどでのPRに取り組んでいる。



【茶業試験場職員による指導】

評価された点

・１人の熱意により、地域の刺激にもなり、雇用も創出できるようになるまでは、大変な苦労があったのではないかと推察される。生産だけでなく、イベントや商品開発を合わせることで継続性にも期待できる。



【茶葉の刈取り作業】



【重要無形文化財の茶畑風景】



【JAと連携したつの茶のPR】